

令和2年(2020年)がいい年でありますように
皆さまのご健勝、ご多幸、ご活躍を心からお祈りします

前田 祝成
枕崎市長



謹賀新年

12月3日 白沢海岸

す。昨年の茨城国体で鹿児島県なぎなたチームは総合2位の好成績を挙げており、今年の大会は優勝が期待されています。市民一丸となつて鹿児島県なぎなたチームを応援しましょう。

そして今年、地方創生の第2期のスタートの年となります。平成27年から始めた「枕崎市地方創生総合戦略」が今年3月で1期目の計画を終了し、4月から「第2期枕崎市地方創生総合戦略」に取り組みます。地方創生総合戦略とは、国の人口減対策として平成26年に施行された「まち・ひと・しごと創生法」を基に、人口減少、少子化、高齢化の進む地方自治体を取り組んできた5年間の戦略です。これまでの戦略を検証し、新たな戦略に取り組むのが今年始まる「第2期枕崎市地方創生総合戦略」ということとなります。今年策定する新たな戦略では、生産額、所得額に焦点を当てた数値目標を定め、地域経済の活性化による地方創生へ向けた施策を行うてまいります。地域内消費を高めるための地産地消への取り組

明けましておめでとうございませす。皆様方には、「令和」最初の年越しを健やかに迎えるのこととお喜び申し上げます。

昨年は新しい元号「令和」の時代が始まった区切りの年でしたが、枕崎市にとりましても市制施行70周年という記念の年となりました。9月1日の市制施行記念日の記念式典をはじめ、第2回枕崎国際芸術賞展開催などの記念事業を実施いたしました。昨年の70周年は、記念式典での「玉城ちはるコンサート」命の参観日や南浜館に青空美術館100基目の立体作品として市民のご協力により制作した「枕崎この地に生きる」大切な命」で「生命(いのち)」をテーマにしてまいりました。市民一人一人が自身の命に向き合い、与えられた命について考える機会になればとの思いで取り組みました。年末の紅白歌合戦に竹内まりやさんが「いのちの歌」で初出場するというニュースには何か因縁めいたものも感じました。

昨年を振り返りますと、本市

みやエネルギー消費の地域内循環への取り組みなど地域の中で経済を回す仕組みを強固なものにします。また地域内雇用の促進、女性活躍社会の実現など枕崎で暮らす市民の所得向上に取り組みます。そして既存産業の競争力強化のための価値向上、さらには観光面においても新しい価値を生むことができる事業を創出し、関係人口を増やすことと外からの収益拡大を図ります。具体的な施策の立案、実行にあたっては多くの市民の皆様とのコミュニケーションを図り、意見を交わしながら進められるよう、「語る会」等を通じて進めてまいります。私自身、今年が新しい戦略をスタートさせる年となることにワクワクした気持ちです。皆さんと一緒に「走る一年」になればと思っています。本年も何とぞよろしくお願いいたします。

結びに、今年一年が市民の皆様にとつて笑顔の多い幸せな年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

の高校生の活躍がとても記憶に残る一年だったように思います。枕崎高校が6月の文化祭で、公益社団法人日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック大会とコラボした「SDGs」への取り組みは、未来のまちづくりへつながる大いなる可能性を示してくれたものでした。また、枕崎高校野球部の活躍は枕崎市民を大いに元気づけてくれました。一方、鹿児島水産高校は全国高等学校水産教育研究会での最優秀賞受賞や陸上競技女子ハンマー投げでの鹿児島県高校総体優勝、全国高校総体出場などの個人の活躍をはじめ、2年目に突入したSPH(スーパー・プロフェツショナル・ハイスクール)事業のさらなるレベルアップなど全国へ誇れる活躍をしてくれました。

さて令和2年の今年、7月から9月に「2020東京オリンピック・パラリンピック」が日本で56年ぶりに開催されます。10月には鹿児島県で「燃ゆる感動かごしま国体」が開催され、本市ではなぎなた競技が10月10日から3日間の日程で実施されま